

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 東洋水産株式会社

上場取引所 東

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堤 殷

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 及川 雅晴

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-3458-5035

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	154,045	△3.9	15,891	22.2	16,427	17.8	9,660	22.3
21年3月期第2四半期	160,223	—	13,002	—	13,948	—	7,901	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	94.78	—
21年3月期第2四半期	77.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	222,950	165,464	68.8	1,505.60
21年3月期	218,681	158,688	67.2	1,442.47

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 153,448百万円 21年3月期 147,030百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
22年3月期	—	15.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	321,000	△0.3	27,900	11.7	29,000	8.5	16,200	17.1	158.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 110,881,044株 21年3月期 110,881,044株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 8,962,339株 21年3月期 8,951,287株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 101,923,476株 21年3月期第2四半期 101,976,859株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した世界的金融危機による景気後退が長期化する中、生産や輸出は持ち直しの動きもみられるものの、企業収益は大幅な減少が続いており、失業率が過去最高水準となる等雇用情勢も一段と厳しさを増しており、景気は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「Smiles for All.すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同四半期に比べ3.9%減収の154,045百万円、営業利益は前年同四半期に比べ22.2%増益の15,891百万円、経常利益は前年同四半期に比べ17.8%増益の16,427百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ22.3%増益の9,660百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

魚介類部門は、前期後半からの世界経済危機による市況低迷で消費者の生活防衛意識が高まったことから低価格志向が鮮明になり、高級水産品であるカニ・ロブスターの販売不振、更には大衆魚といわれるサバ・シシャモ等の販売価格も下落しております。そのような状況の下、当社の得意商材である魚卵の新規取組み、エビ・マグロ等の新商品の開発を行ってまいりましたが、売上高は前年同四半期に比べ15.9%減収の17,404百万円、営業利益は前年同四半期に比べ43.4%減益の346百万円となりました。

加工食品部門は、国内即席麺事業では、企業スローガンの下で主力品の拡売に努めました。カップ麺では、「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」は麺とスープの改良を重点にリニューアルを行いました。また、「麺づくり」では麺にこだわりリニューアルを行い積極的な拡売に努めました。オープンブライズ商品の落ち込みが影響し、国内カップ麺は微減となりました。袋麺においては、主力の「カレーうどん5食パック」「冷しラーメン5食パック」等が貢献し、袋麺全体では増収となりました。生麺事業は、天候不順と経済不況に起因する価格競争の激化により業界全体も前年並みの推移となり、当社売上も主力焼そばは順調に推移したものの全体ではほぼ業界と同水準に留まりました。冷凍食品は、冷凍麺、凍菜は引き続き順調に推移したものの、調理品類の主力ユーザー向け売上減少をカバーできず減収となりました。米飯部門及び魚肉ハムソーセージ部門の売上は、適正売価の販促に努めましたが前年を下回りました。調味料類は、引き続き家庭内調理の増加もあり、売上を維持しました。これらの結果、加工食品部門全体の売上高は前年同四半期に比べ3.1%減収の127,285百万円、営業利益は前年同四半期に比べ25.9%増益の14,666百万円となりました。

冷蔵庫部門は、前期において、米国のシーフリーズL.P.の冷蔵庫部門を事業譲渡いたしました。消費低迷による顧客の在庫圧縮傾向の中、積極的な営業活動に努めた結果、在庫量、在庫量を維持することができました。この結果、冷蔵庫部門全体では売上高は前年同四半期に比べ6.0%減収の6,637百万円となりました。営業利益は前年同四半期に比べ60.9%増益の610百万円となりました。

その他部門は、主に輸入牛肉の販売並びに不動産賃貸であります。輸入牛肉が好調に推移し、売上高は前年同四半期に比べ133.2%増収の2,717百万円、営業利益は前年同四半期に比べ16.1%減益の302百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本は、冷蔵庫部門において増収となったものの、魚介類部門及び加工食品部門において減収となった結果、売上高は前年同四半期に比べ2.6%減収の126,465百万円となり、営業利益は前年同四半期に比べ1.1%減益の9,734百万円となりました。

北米は、前年度にシーフリーズL.P.を事業譲渡したこと、為替換算による影響から売上高は前年同四半期に比べ9.3%減収の27,579百万円となりました。この内、即席麺事業の売上げは順調に推移しました。前年同四半期比12.9%の為替の影響がありましたが売上高は前年同四半期比7.1%減収となりました。営業利益は値上げ効果と原材料価格の下落によって、前年同四半期に比べ92.4%増益の6,134百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は4,269百万円増加し222,950百万円、純資産は6,776百万円増加し165,464百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に建設仮勘定が増加し、有価証券が減少いたしました。負債は、主に未払法人税等、未払費用が減少いたしました。純資産は、主に利益剰余金が増加いたしました。

この結果、自己資本比率は68.8%、1株当たり純資産は1,505円60銭となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5,335百万円減少し、44,202百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ972百万円増加の12,164百万円となりました。これは主に、未払費用の減少、法人税等の支払額の増加により資金が減少した一方、税金等調整前四半期純利益の増加、たな卸資産の減少により資金が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ951百万円増加の13,884百万円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が減少しましたが、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ438百万円増加の1,699百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出が増加したことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月27日に発表した「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しましたとおり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、厳しい経済環境の中で、当初予想を下回りました。一方、営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、為替の影響があったものの、北米地域の即席麺事業が原価低減等で順調に推移したことにより、当初予想を上回りました。

なお、通期の連結業績予想については、当第2四半期までの業績動向や今後の見通しを踏まえ、売上高は当初予想を下回る見込みであり、利益面については当初予想を上回る見込みであります。不測の事態があった場合には、速やかに公表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,711	33,000
受取手形及び売掛金	39,842	39,191
有価証券	11,000	17,000
商品及び製品	13,357	15,326
仕掛品	207	165
原材料及び貯蔵品	4,089	4,451
繰延税金資産	1,614	1,856
その他	3,731	2,989
貸倒引当金	559	556
流動資産合計	106,994	113,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,084	35,854
機械装置及び運搬具(純額)	16,782	16,290
土地	31,330	31,527
建設仮勘定	12,248	2,776
その他(純額)	1,066	1,124
有形固定資産合計	97,512	87,574
無形固定資産		
のれん	96	121
その他	1,503	1,812
無形固定資産合計	1,600	1,934
投資その他の資産		
投資有価証券	14,733	13,594
繰延税金資産	1,346	1,392
その他	763	761
投資その他の資産合計	16,843	15,748
固定資産合計	115,955	105,257
資産合計	222,950	218,681

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,477	20,439
短期借入金	1,582	1,535
1年内返済予定の長期借入金	52	82
未払法人税等	3,965	5,035
未払事業所税	30	65
未払消費税等	424	593
役員賞与引当金	56	248
未払費用	14,450	15,898
その他	1,582	631
流動負債合計	41,621	44,529
固定負債		
長期借入金	90	116
繰延税金負債	1,106	999
退職給付引当金	13,944	13,608
役員退職慰労引当金	99	121
その他	623	618
固定負債合計	15,864	15,463
負債合計	57,485	59,993
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	21,412	21,412
利益剰余金	129,633	121,503
自己株式	7,181	7,157
株主資本合計	162,834	154,727
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	467	260
繰延ヘッジ損益	302	0
為替換算調整勘定	10,155	7,437
評価・換算差額等合計	9,385	7,697
少数株主持分	12,016	11,658
純資産合計	165,464	158,688
負債純資産合計	222,950	218,681

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	160,223	154,045
売上原価	105,039	96,580
売上総利益	55,184	57,465
販売費及び一般管理費	42,182	41,573
営業利益	13,002	15,891
営業外収益		
受取利息	369	223
受取配当金	216	141
賃貸収入	168	202
持分法による投資利益	65	109
雑収入	371	207
営業外収益合計	1,192	884
営業外費用		
支払利息	22	15
貸倒引当金繰入額	36	-
賃貸収入原価	34	32
為替差損	79	198
雑損失	74	102
営業外費用合計	246	348
経常利益	13,948	16,427
特別利益		
固定資産売却益	23	6
貸倒引当金戻入額	-	8
その他	13	5
特別利益合計	36	21
特別損失		
貸倒引当金繰入額	256	-
固定資産除売却損	186	105
投資有価証券評価損	250	107
減損損失	-	177
その他	21	26
特別損失合計	715	416
税金等調整前四半期純利益	13,268	16,032
法人税、住民税及び事業税	5,316	5,952
法人税等調整額	281	37
法人税等合計	5,034	5,915
少数株主利益	331	457
四半期純利益	7,901	9,660

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,268	16,032
減価償却費	4,217	3,874
減損損失	21	177
のれん償却額	17	24
持分法による投資損益(は益)	65	109
投資有価証券評価損益(は益)	250	107
退職給付引当金の増減額(は減少)	299	335
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	69	22
役員賞与引当金の増減額(は減少)	19	192
貸倒引当金の増減額(は減少)	378	2
受取利息及び受取配当金	586	364
支払利息	22	15
為替差損益(は益)	79	198
有形固定資産除売却損益(は益)	149	95
売上債権の増減額(は増加)	135	811
たな卸資産の増減額(は増加)	1,857	2,067
仕入債務の増減額(は減少)	346	787
未払費用の増減額(は減少)	64	1,317
その他	607	411
小計	15,079	18,913
利息及び配当金の受取額	601	377
利息の支払額	29	15
法人税等の支払額	4,460	7,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,191	12,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	5,377	186
定期預金の払戻による収入	136	140
有形固定資産の取得による支出	7,141	13,804
有形固定資産の売却による収入	52	92
投資有価証券の取得による支出	522	8
投資有価証券の売却による収入	12	7
貸付けによる支出	1,156	1,033
貸付金の回収による収入	1,153	972
無形固定資産の取得による支出	92	58
その他	3	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,933	13,884

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,698	2,032
短期借入金の返済による支出	1,152	1,985
長期借入金の返済による支出	71	56
配当金の支払額	1,530	1,529
少数株主への配当金の支払額	120	125
その他	84	35
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,261	1,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	635	1,915
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,367	5,335
現金及び現金同等物の期首残高	37,570	49,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,202	44,202

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	魚介類 部門 (百万円)	加工食品 部門 (百万円)	冷蔵庫 部門 (百万円)	その他 部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	20,700	131,293	7,064	1,165	160,223		160,223
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,221	178	496	384	2,281	(2,281)	
計	21,921	131,472	7,561	1,549	162,505	(2,281)	160,223
営業利益	612	11,648	379	359	13,000	2	13,002

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	魚介類 部門 (百万円)	加工食品 部門 (百万円)	冷蔵庫 部門 (百万円)	その他 部門 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,404	127,285	6,637	2,717	154,045		154,045
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,043	275	529	298	2,147	(2,147)	
計	18,448	127,560	7,167	3,016	156,192	(2,147)	154,045
営業利益	346	14,666	610	302	15,926	(34)	15,891

(注) 1 事業区分は業種、製品の種類及び取引形態により区分しております。

2 各事業の内容及び主要な製品の名称

- (1) 魚介類部門.....魚介
- (2) 加工食品部門.....即席麺・生麺・冷凍食品・米飯
- (3) 冷蔵庫部門.....保管・凍結
- (4) その他部門.....不動産賃貸

3 決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額は、営業外損益(為替差損益)として処理しております。前第2四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「魚介類部門」が83百万円(差損)、「加工食品部門」が1百万円(差益)であります。当第2四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「魚介類部門」が168百万円(差損)、「加工食品部門」が3百万円(差益)であります。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	計(百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	129,813	30,409	160,223		160,223
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		2,710	2,710	(2,710)	
計	129,813	33,120	162,934	(2,710)	160,223
営業利益	9,845	3,189	13,034	(31)	13,002

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	計(百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	126,465	27,579	154,045		154,045
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高		2,240	2,240	(2,240)	
計	126,465	29,820	156,286	(2,240)	154,045
営業利益	9,734	6,134	15,868	23	15,891

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法は、地理的近接度によっております。

(2) 北米区分に属する主な国又は地域は、米国・メキシコであります。

2 決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額は、営業外損益(為替差損益)として処理しております。前第2四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「北米」が81百万円(差損)であります。当第2四半期連結累計期間における営業外損益(為替差損益)のセグメント別内訳は、「北米」が165百万円(差損)であります。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	30,420	392	30,812
連結売上高(百万円)			160,223
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.0	0.2	19.2

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	27,715	155	27,870
連結売上高(百万円)			154,045
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	18.0	0.1	18.1

(注) 1 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分方法は、地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

北米.....米国・メキシコ

その他の地域.....中国・台湾・韓国

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
魚介類部門	4,258	99.4
加工食品部門	101,285	98.7
合計	105,544	98.7

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
加工食品部門	9,952	96.6	35	89.4
合計	9,952	96.6	35	89.4

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 当社製品はすべて見込生産によって製造されており、受注生産は行っておりません。
3 外注先からの発注により受注生産を行っている会社は、フクシマフーズ(株)、(株)フレッシュダイナー、石狩東洋(株)及びミツワデイリー(株)であります。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
魚介類部門	17,404	84.1
加工食品部門	127,285	96.9
冷蔵庫部門	6,637	94.0
その他部門	2,717	233.2
合計	154,045	96.1

- (注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)	販売高(百万円)	割合(%)
三井物産(株)	39,327	24.5	38,130	24.8

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。